



<https://www.ariake.kaetsu.ac.jp/>

2026年度入試 イベント案内

■ 高校説明会

- 6月28日(土) 14:00~16:00
- 7月19日(土) 14:00~16:00
- 9月27日(土) 14:00~16:00
- 11月29日(土) 14:00~16:00

■ 帰国生対象 学校説明会(オンライン)

- 6月7日(土) 14:00~15:30
- 7月12日(土) 10:00~11:30
- 9月27日(土) 10:00~11:30
- 10月18日(土) 14:00~15:30

体育祭

5月31日(土) 13:10~16:50

文化祭

9月20日(土) 10:00~15:00 9月21日(日) 10:00~15:00

KAETSU ARIAKE



 かえつ有明高等学校

〒135-8711 東京都江東区東雲2-16-1
TEL:03-5564-2161 FAX:03-5564-2162
E-MAIL: kikitai@ariake.kaetsu.ac.jp



 かえつ有明高等学校

SCHOOL CONCEPT BOOK 2026



「違う」ということは、「強い」ということ



芯を育む、自由がある、安心がある。

一人ひとりの自分軸を確立するために、
 お互いに尊重される自由で安心感のある学びの場を、
 生徒・保護者・教職員、共に作っていきます。
 世の中の変化をおそれることなく、自分らしく生き、
 新しい価値観を創造できる人間へと成長するための3年間です。
 次の3つのキーワードから、
 かえつ有明の「新クラス」の学びは進化していきます。



CONTENTS 目次

03 DISCUSSION	23 施設紹介
07 CAMBRIDGE	25 制服紹介
09 PROJECT	27 学園情報
11 ENGLISH	29 入試情報 / 校長メッセージ / 教育理念
13 SUBJECT	
17 進路・進学	
19 生徒の1日 / 学校行事	
21 部活動紹介	



STUDENT

小島 恵翔さん 高校2年生 ミュージカル部

どのような意見も否定せず一旦受け止めて聞いてくれる先生や仲間がいることで、心を開いて明るく過ごすことができているという。



STUDENT

坂本 健志さん 高校3年生 ミュージカル部

地方創生に関心があり、まだ行ったことのない地域を訪ねて街を歩き、おいしいものを食べたり地元の人にインタビューすることにハマっている。

あったからこそ、かえつの授業はいつも輝いていたのだと思います。

ダニエルズ先生:常に当たり前のことに疑問を持って先生に質問したり、仲間と意見を交わしながら授業を進めていくのはとても素晴らしいことです。

坂本:A組はとても居心地の良い場所だと感じています。このクラスに行けば、きっと曇っていた気持ちが晴れるだろうとか、自分の“素”を出してもいいんだと思えるからです。それに、友達とグループワークをしていると新たなアイデアや見方が生まれて来るし、こういう話し方をすればもっとプレゼンテーションが上手くなるというひらめきがあります。皆が本気でやっているから自分も本気で向き合いたくなるような向上心が湧き立つんです。

高倉先生:それって、入学した時点から

自分の中にあったモチベーションなのか、それとも友達とのコミュニケーションによって育まれてきたものなのか、どちらだと思いますか。

坂本:入学してからだんだんに育まれてきたものだと思います。最初は不安だったんです。みんな元気だし、こんなガツガツ来るの？グループワークこんなにやるの？みたいな感じで(笑)。でも、色々話していくうちに、あ、この人たちなら大丈夫だという感覚になりました。



それには行事も大きく関係していて、クラスで体育祭や文化祭の決め事をする時に、最初はバラバラでも直前や当日になると「絶対勝つぞ!」という皆の思いが一つになる。そうやって行事を作り上げていく中で信頼が生まれているのだと思います。

柚木:私はあまり行事とかを率先して引っ張っていく方ではなかったのですが、高1の時はそれを見せたいと思って周りのノリに合わせていました。でも、なんか偽りの自分を見せている気がして気分が悪かったんです。そんな時に、クラスメイトが「大丈夫?」と声をかけて私の気持ちを聞いてくれたことで、他者の思いとの違いや共通点を見出すことができました。それからは、行事を自分なりの表現で楽しめるようになり、高3の体育祭の時には「イケイケ、

DISCUSSION

[在校生 × 卒業生 × 教員]

常に「疑問」を持って取り組む授業スタイルに価値を感じて

高倉先生:皆さんは高校からかえつに入学していますが、見学会ではどのような印象を受けましたか。

小島:プレゼンテーションをしてくれた先輩の姿がすごくカッコよくて、キラキラと輝いて見えました。先生方がどのような教育をしたくて集まっているのかもよく伝わってきましたし、後半のワー



クショップで生徒が考えて提案している姿にも魅力を感じました。

高倉先生:他の学校も見学しましたか。

小島:いいえ、かえつだけです。実は中学受験の時に一度失敗してしまい、他の私立校に行ったんです。でも、どうしてもかえつのが諦めきれなくて、中1の時から高校の入試要項を読み、何回も見学会に参加して、かえつを受験するために公立中学に転校しました。だから、高校で新クラス(以下、A組)に入学できたのがめっちゃ嬉しいです!

ダニエルズ先生:入学前に描いていたイメージとのギャップはありましたか。

小島:想像していた以上に英語が飛び交っていてビックリしました。でも、こんなにも学校自体が好きになるとは思わなくて、中学生の頃は友達に会いたくて学校に行っていました。今は授業を



受けたくて来ています。

柚木:私の場合は今の意見をミックスしたような感じで、A組の授業を友達と受けたいから来ていました。クラスメイトと一緒に学ぶことに価値があると思っていたんです。授業中に自然と「これって、どうなんだろう。本当に合っているのかな?」という疑問を持つことが多くて、その一つひとつが対話のテーマになっていました。そんな授業スタイルが



GRADUATE

柚木 麻央さん
学習院女子大学 国際文化交流学部1年

将来の目標は客室乗務員または国際交流員として活躍すること。そのために海外に長期滞在し、フィールドワークを通して語学力を高めたいと考えている。



TEACHER

高倉 吉規先生 芸術科主任

「プロジェクト」で魅力的な作品を実現するために必要なサポートに携わる。授業中の疑問や課題点の結論をその場で出す必要はなく、一旦持ち帰ってよく考えることが大切だと話す。



TEACHER

イアン・ダニエルズ先生 国際交流部長

自他の立場やその時の状況によって変化するコミュニケーションを、柔軟に行えるようにするための指導に力を入れている。2025年1月、全国の私立校でも数少ない「文部科学大臣優秀教職員表彰」を受賞。

DISCUSSION

先生と生徒というよりも人と人として見てくれて、対等な立場で過ごせるのが嬉しいです。

3年間で学んだことを、大学生生活やその後のキャリアに活かすのが“使命”だと思っています。

外部講師で来られたチベットの元首相と対話しました。こんな経験は他では絶対できないと思います。



安心安全という言葉は好きじゃないけれど、自分自身もそう感じるものがよくあります。

私に足りない言葉があっても、生徒たちがクラスをカバーしてくれるので安心していられます。

ほら！]みたいに熱く応援している自分がいました(笑)。

坂本: 僕も高1の初めの頃は自分の弱さを見せちゃいけないと思って必死でした。だから、「ミコシ・プロジェクト」の振り返りの時も、自分の正直な気持ちを言うのが怖かったです。でも、言ってみたら皆は真剣に聞いてくれて、うん、うん、とうなずいていたので、言ってみて本当に良かったと思いました。

高倉先生: ミコシ・プロジェクトの時もそうでしたが、私は授業というよりも刺激になるものをたくさん作りたいと思っています。刺激を受けたものには「そんなじゃだめだよ」とか、「もうこれだけやったんだから」という強い気持ちが入るので、体に残るし、忘れない。そんな経験を重ねていくことが、今も、これからも大切になると思っています。

自分を隠さなくなった「プロジェクト」での体験

高倉先生: かえつは主体性を大切にしたい、生徒たちが考えて物事を進めていくことを後押ししています。そうした学校の姿勢と、皆さんが大切にしていることが噛み合うからこそ居心地が良かったり、安心安全だと感じるのだと思います。そのことについて皆さんが思い浮かぶ出来事などがあれば教えてください。

小島: 私は、体育の授業が一番居心地が良いと感じています。他のクラスと合同で、先生もA組だけを見ているわけではないのに、自分たちのことをすごく尊重してくれるんです。最後の授業で先生は、少しぐらい授業に遅れても元気よく挨拶や返事をしていた私たちのことを「本当に真面目で良い子たちだ」と言っ

てくれました。そういうところに、かえつの魅力を感じます。

坂本: 「FOXプロジェクト」で東日本大震災によるPTSDについて探究していた時、急にモチベーションが下がって何もアイデアが浮かばず、グループの間に嫌悪感が漂ってしまいました。僕は最終発表の直前に「もう嫌だ、やりたくない」と言ってしまう、ヤバい!と思ったのですが、先輩たちは「そういうこともあるよ」と言って励ましてくれました。それから先生に相談し、アドバイスに従って自分たちが本当に思っていることを発表すると、皆が真剣に聞いてくれたんです。その時から自分に嘘をつかないというか、隠す気がなくなりました。

柚木: 私は、コミュニケーションスキルアップのための「NVCワーク」で自分のネガティブな感情を話さなければいけ

ないのが本当は嫌だったんです。でも、周りの子たちが過去のことを思い出して、その時の気持ちと向き合おうとしているのを見て、自分も似たような感情を持った時期があったという共感が生まれました。そして、彼らなら受け止めてくれるだろうと思えたことで、自分のことも話す気になりました。それからは、今までは性格が違う子と思っていた子にも、どこか自分と似たような部分があると感じられるようになり、クラスメイトとの距離が縮まりました。

ささいな質問でも真剣に聴いてくれる先生がいるから安心

坂本: 最近、高倉先生が「先生って呼ぶのをやめましょう」という話をしてくれたことで、より距離が近づいたと感じています。何かきっかけがあったのですか。

高倉先生: そもそも先生って何だろうなみたいな、もやもやした気持ちがありました。学校にとって皆はお客さんじゃないし、保護者が期待しているのは、かえつという学校を介して社会に出ていく子供の視界が開けていくことだと思うんです。だとしたら、私は皆とその価値を作っていくパートナーなのだから、先生と呼ばれるのはおかしいと思いました。イアン先生は、担任として普段どんなことを意識していますか。

ダニエルズ先生: 何よりも大事なのは、生徒たち自身でクラスを作り上げていけるようにサポートすることだと思います。だから、ちょっと行き過ぎたと思った時に助言するくらいにしています。例えば、ケンブリッジ研修のプレゼンテーションの時なども、なるべく生徒たちを信じて任せていたのですが、生徒たちはちゃんと準備してくれたので大丈夫でした。また、どん



なゲストに対しても、とりあえず話を聴いてみようという前向きな姿勢があるのも素晴らしいです。そんな生徒たちが大学生になった時、自分の成長を実感できるだろうと思えるのが私は嬉しいです。

小島: かえつの先生方は私たちのことを「すごい!」と言ってくれますが、自分ではそんな風感じていないんです。特に3学期のFOXプロジェクトでは、自分が本当にグループに貢献できているのか不安でした。でも、先生に相談したら私の気持ちを受け止めてくれて、自分では気づいていない良い部分をほめてくれました。普段何気なく言ったことに対しても「なぜそう思うの?」と質問して向き合ってくれるような、少しも取りこぼさないところが安心感につながっているのだと思います。

日本一青春しているクラスで人間性を高められる喜び

高倉先生: これまでの高校生活で学んだことや得たものなど、改めて感じているかえつの良さを教えてください。

柚木: 一番近いようで一番遠い「自分」という存在に気づくことができた3年間だと思います。人間には表の顔と裏の顔があると言われていますが、私自身も外ではできないのに、なぜ家の中ではできないのだろうと思うことがありました。でも、誰にでもそういう面があるし、人間は多面性なので、それで良いんだということに気づくことができました。“他人は自分を映す鏡”と言われるように、相手の嫌な面は自分がすごく気にしているところだったり、とても良く思えるところは自分にも認めてあげられる部分だということも分かりました。自身と他者の色々な面を知る中でだんだんと深みのある人間になれたのが、かえつでの一番の学びだったと思います。

坂本: 僕も同じで、人間性を高められたと感じています。また、授業でプレゼンテーションとフィードバックを繰り返したり、様々な外部講師の方と関



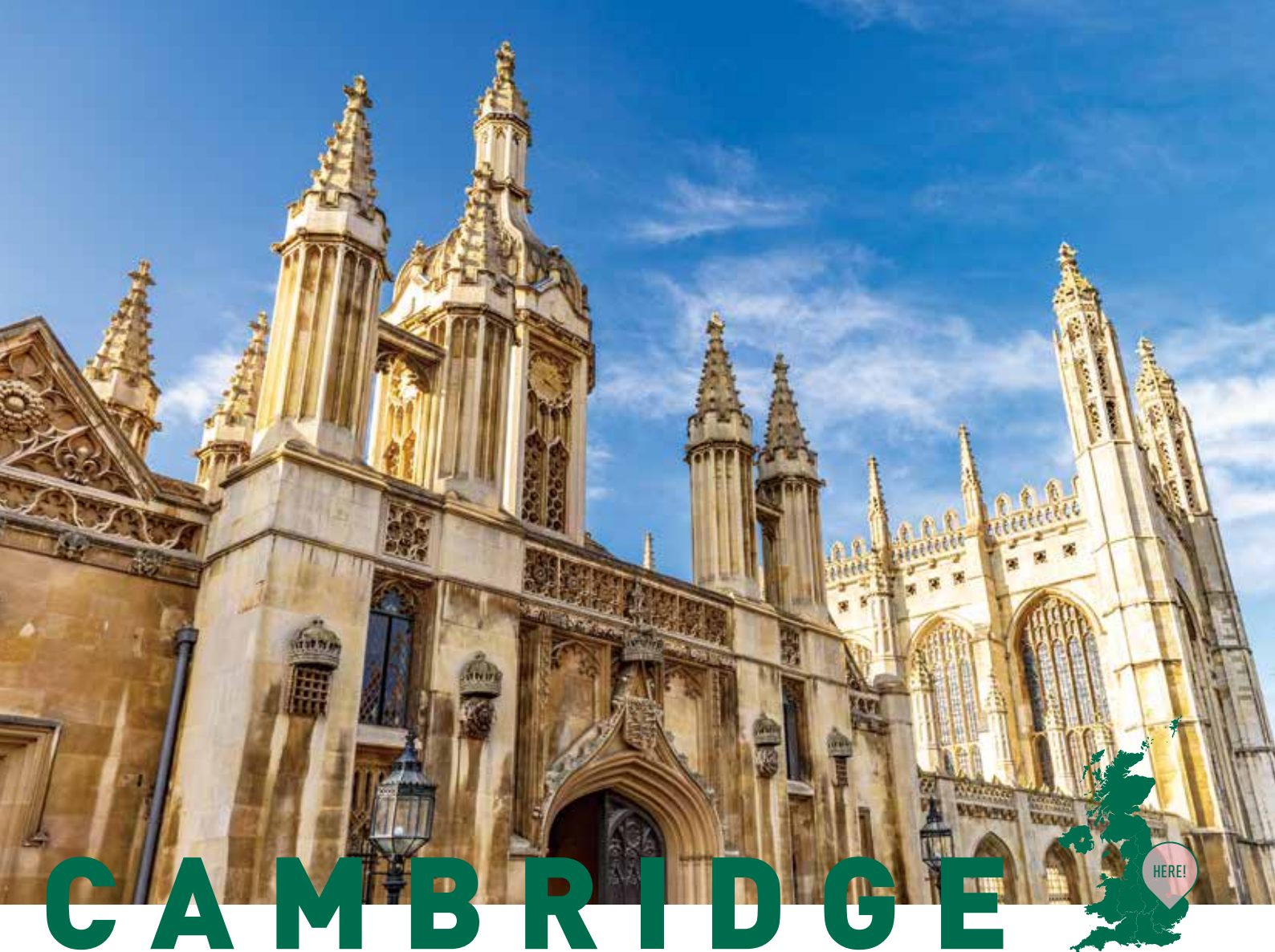
わりを持てるのは他校にはない魅力だと思っています。今僕たちが話をしているこの場所(BLOOM)で、授業という枠を超えた時間を過ごせるのも恵まれているし、そうした環境の中で皆と衝突することがあっても、後で「こんなこともあったね」と言って笑い合える仲間がいる。だからこそ、学校に来たいという気持ちになれるので、僕たちはよく「日本一青春しているクラスだね!」と話しているんです(笑)。

小島: A組は自分をリノベーションできる場所だと思います。自分が大切にしているものを皆が受け止めてくれて、自分もクラスメイトからたくさん刺激をもらえるので、その化学反応みたいなことによって自分が成長できているのだと思います。

ダニエルズ先生: かえつは、私が15年前に来た時からどんどん進化しています。以前、生徒から学校指定のショルダーバッグは教科書を入れると重くて身体に負担がかかるという話が出た時は、保護者や先生も交えてじっくり話し合いました。その結果、リュックになり、今ではそれが普通になっています。つまり、ここには生徒と保護者と先生が一体となって学校を作り上げていく環境があるのです。各教科の先生同士の会話も多く、また、生徒の様々な相談に先生方がいつでも応えられるようにしています。生徒たちが提案した異学年交流パーティー「かえつナイト」も校長先生が受け入れてくれて、生徒主体で実現することができました。もし生徒が失敗しても、そこから学んだことを大切に、新たなチャレンジを応援するのがかえつの強みだと思います。

高倉先生: まさに、その通りですね! 皆さん、今日はありがとうございました。

新クラスは、素々の自分を出せる場所。だから居心地が良くて「学校に来たい!」と思える。



CAMBRIDGE

[ケンブリッジ研修]

新クラスの学びを象徴する ケンブリッジ研修

1年生の5月、新クラスの全員が英国ケンブリッジ研修に旅立ちます。入学して間もないこの研修は、初めて行う課題探究学習であり、対話しながら協働する、最初の経験でもあります。

MESSAGE

DEVELOP THE POWER TO DESIGN YOUR OWN FUTURE

この研修では、生徒たちは日頃快適に暮らしている場所から外に出て、「あたりまえ」を疑ってみる機会を得ます。語学学校では様々な活動に参加するのですが、ことばや文化について学ぶだけでなく、色々なプロジェクト、今までの考え方を見つめ直す取り組み、チームビルディングなどに集中的に取り組めます。2週間のホームステイ、語学学校のプログラム、人気の観光地での自主研修などで、生徒たちは新たな経験をして、振り返りをして、そうする中で、学びの主体は自分たち自身だと気づくことを大切に考えています。楽しみながら経験を積み、自己対話をして、考えたことを振り返りながら次に生かす。そうして、自分自身の未来をデザインするのに大切な「POWER」を身につけていきます。

P O W E R
 PASSION OPEN MIND WORK ORIENTED EMPATHY RESILIENCE



国際交流部長 イアン・ダニエルズ

Homestay and Cultural Exchange



イギリスでの生活を通じて、様々な違いに気づきます。言語の壁や異なる食文化、家庭ごとのルールに触れながら、課題を乗り越えていきます。ケンブリッジでは、美しい公園や歴史的建造物、ここで学んだ著名な学者たちが魅力を深めます。地元の学校で文化交流イベントを楽しみ、名所を巡りながら、オープンマインドで主体的に学び、探究心を大切にしたいPOWER-fulなマインドを育みます。

Onsite Activities and Challenges



実生活で問題を解決するには、目標や目的、対象となる人々を理解することが大切です。つまり、誰とコミュニケーションを取り、何を達成したいのかを明確にすることです。生徒たちは2週間、自分の興味に合わせてプロジェクトを進め、探究や地元の人々との交流を通じて学びます。また、日記にその日の活動を記録し、どの場面で自分のPOWERを最も発揮できたかを振り返ることで、次への気づきに繋がっていきます。

Cultural Trips



多様な経験を積むためにさまざまな場所を訪れ、自分自身や社会、世界を見つめ直します。また、学びの主体が自分たちであることを生徒たちが意識できるように、学ぶ内容を自ら選ぶ機会をつくっています。例えば、ロンドンでは、自分でテーマや目標を設定し、スケジュールも自分で立てて行動しました。成功も失敗も含めて、その経験を通じて今後に活かせるPOWERを得ることができました。

Innovation / Design Project



小グループに分かれてイノベーションプロジェクトを行います。各グループは、Dragon's Denやマーケティングフェア形式のプレゼンテーションで発表するために、新しく革新的な製品を考案します。このプロセスを通じて、生徒は先生や地元のビジネスパーソンと対話し、Passion、Open mind、Work ethic、Empathy、Resilienceが、新しいアイデアの開発や問題解決、すべての人にとってより良い未来を創造するのに役立つことを学びます。

Kaetsu Plan Overview (実践例)

	DAY1 MON.	DAY2 TUE.	DAY3 WED.	DAY4 THU.	DAY5 FRI.	DAY6 SAT.
SESSION 1 9:00~10:30	Lesson Welcome to Bell Tour/Rules/etc	Lesson British Food Part 1-Language of description	Lesson Language and Culture		Lesson Trip Feedback/ Language to support onsite project	Day Trip Day Trip to BRIGHTON (Seaside town on the south coast)
SESSION 2 11:00~12:30	Lesson Get to know you/ Students share their personal projects	Lesson British Food Part 2-Tasting session!	Lesson Language and Culture	Day Trip Day Trip to LONDON (Walking tour+ Student created plans)	Lesson Language and Culture	DAY7 SUN.
AFTERNOON	Kaetsu-led programme Cambridge Orientation Challenge+Free time	Kaetsu-led programme Visit Local School +Bowling	Student-led time Students work on personal projects		Excursion Visit Kings College Chapel	Free time in Cambridge +work on personal projects

	DAY8 MON.	DAY9 TUE.	DAY10 WED.	DAY11 THU.	DAY12 FRI.	DAY13 SAT.
SESSION 1 9:00~10:30	Project Innovation/Design project	Project Innovation/Design project	Project Innovation/Design project	Project Innovation Project Presentations	Lesson Project Reflections and Awards	Flight back to Japan
SESSION 2 11:00~12:30	Project Innovation/Design project	Project Innovation/Design project	Project Innovation/Design project	1.To Judges 2.To Bell School students	Lesson Goodbyes,photos and graduation ceremony	DAY14 SUN.
AFTERNOON	Kaetsu-led programme Mindfulness/ Reflection +Free time	Student-led time Students work on personal projects	Student-led time Students work on personal projects	Excursion Visit Ely (Market town+Ely Cathedral)	Excursion Punting on the river	Back in Japan



PROJECT

[プロジェクト科]

探究型の学びの感性と スキルを身につける

対話をしながら人との関係性や自分の軸を育むプロジェクト科。他者から多様な感性・思考を学びながら、自分自身が探究し続ける意義を見出す、かえつ学びの基礎となる授業です。

プロジェクト科とは

プロジェクト科は自身が設定したテーマに対して探究的かつ実践的な姿勢で取り組むことを第一にしている教科です。そのために次の3つの観点が授業のデザインとして常に意識されています。

① 学び方を学ぶ

探究でもっとも大切なことはテーマ設定です。まずは、自分自身でも整理できていない自分が大切にしている想いや価値観と向き合うために観点②の自分軸の確立のための時間が大切になります。そして次に大切なのは、現れ始めた自分の想いや価値観を素直にさらけ出せる場の存在です。誰もが安心して自分らしく表現するには、共に探究する仲間の受け止め方が重要になります。自分の感情や大切にしている想いは大事にしつつも相手の感情や想いにも寄り添い、統合していく世界観を養っていく。例えば互いの感情に意識を向けた「共感的コミュニケーション」のトレーニングや関係性の質を高める「ポジティブ相互インタビュー」

② 自分軸を確立する

や「パターンランゲージ」を利用した経験の共有、他者との対話から意味を紡ぎ出す「ダイアログ」や全体性・主体性を発揮するワールドカフェやオープン・スペース・テクノロジーなどの実践です。以上のことが整って初めて、安心して素の自分で探究に向き合うことができ、観点①の探究のためのスキルと理論を思う存分習得できるのです。それぞれが自身の価値観に従い、ただし多様な声に耳を傾けながら、授業の枠を超え、新たな仲間と共に理想とする未来を創りはじめていきます。

③ 共に生きる

Projectの流れ

プロジェクト科では自らの興味・関心と向き合い、「答えのない問い」の「答え」を創造します。そのために、「自分らしく飛び立てる学びの場をつくる」ことを大切にしています。

おもしろセンサー

日常にころがっている「おもしろさ」をキャッチする

ありのままの安心感

ありのままの状態を受け入れて、どんな生徒に対しても開かれた場をデザインする

自分らしさの表現

それぞれが自分らしさを発揮する

深くもぐるきっかけ

対話により、本当に学びたいことに気づく

試行錯誤による追求

理想の状態を求めてトライ&エラーを繰り返す

学びのプロセスで、自分は何者かを知り(自分軸を確立する)、

多様な価値観を深く理解し(共に生きる)、

変動する社会で自分たちなりの生き方を創造する力を身につけます(学び方を学ぶ)。

生徒たちが主体的に立ち上げるそれぞれのプロジェクト

常に「自分は何がしたいのか」「どんなことに興味があるのか」と向き合うプロジェクト科。この学びを経験した生徒たちは、自分たちでプロジェクトを立ち上げたり、創作活動を行うなど、主体的な探究学習に取り組みはじめます。教員の基本的なスタンスは「自分でやっごらん」。必要な基本知識や、NGO団体や大学の研究者の紹介など、最小限のサポートだけで、プロジェクトは生徒の手によって動き始めます。

実践例

- 子どもによる子どものための街づくり「わかばCBTプロジェクト」
- 映像や画像や音で平日頃遊んでいる高校生が送る気軽に楽しく動画編集を学べる体験型ワークショップ
- ツバルボランティア
- マイナビキャリア甲子園
- 学校説明会の「伝える難しさ」から生まれた【高校新クラスの日常】
- 学生自己肯定感向上のためのワークショップ・学校PR部
- 第2回SB Student Ambassador全国大会inサステナブル・ブランド国際会議2022
- クラス内ビジネスコンテスト

Wish-oi GO!!! 有明の願いを運ぶ「ミコシ・プロジェクト」

「お神輿を作って夏祭りに参加します」と突然先生から告げられた1年A組。これが僕らの最初のプロジェクトでした。何から始めればいいのか分らなかったで、まずは円になって対話をするところから始めました。「お神輿ってなんだろう?」「神輿を担ぐ意味ってなんだろう?」「なぜ有明に神輿がないのだろう?」と頭の中の疑問を円の中心に出すことを繰り返し行いました。次に、それらの疑問に答えるために何をすべきなのかを考えました。クラスの提案でコラボをしていた企業さんと一緒にフィールドワークに出てみたり、理想のお神輿を絵で描いたり写真をカラーズするなど、様々な方法を使って神輿に対するイメージをクラスみんなで固めていきました。ある一つのモノに対して様々な視点や方法から考えることによって、新たな発見や考え方ができることに僕らは気付かされました。それが「Wish-oi GO」の完成に繋がったのです! (手塚 充人)



外部プロジェクトでの学び “地域を繋げる個人の一歩”

「子どもと触れ合いたい」という友人との何気ない会話と、「英語の楽しさを知ってほしい」という思いをきっかけに、近くの東雲児童館で英語教育のボランティアを始めました。乳幼児から中学生までの子ども達や職員の方々と関わり活動を重ねる中で、同じ東雲にありながら互いのことを全く知らない地域の繋がりの薄さを感じました。そこで、児童館の子どもたちや保護者、スタッフをかえつ有明に招待する「しのめ探検隊」という交流会を企画し、スポーツや学校紹介を通じて地域を繋ぐ場を作りました。自分の小さな行動が「東雲コミュニティ」のつながりを深める架け橋となり、個人の行動が地域に与える影響を実感しました。(竹廣 優希)





ENGLISH

[英語授業]

英語を「技術」として習得する

「英語」の授業では日本語と同様に、英語を操る技術をトレーニングします。

2つの側面から英語を学ぶ

英語の習得には、2つの側面があります。1つは英語を実際に使うトレーニング。リサーチをし、文章を書くなど、英語を使う活動をしながら、英語に慣れる授業です(論理表現I)。もう1つは英語の仕組みを理解したり、異文化理解の側面などから総合的に英語を学ぶ授業です(英コミュI)。週6時間のうち、高1では4時間がネイティブによる授業です。「中学のときから英語が苦手だから不安」になる必要はありません。英語は単なる道具なので、使えば誰でもできるようになるというマインドセットこそ必要なのです。

高校1年生 時間割例

	月	火	水	木	金	土
朝のHR						
1	情報I	論理表現I	物理基礎	言語文化	情報I	英コミュI
2	現代国語	数学I	英コミュI	プロジェクト	現代国語	現代国語
3	生物基礎	体育	数学I	保健	プロジェクト	プロジェクト
4	英コミュI	英コミュI	体育	地理総合	生物基礎	
昼休み						
5	数学I	数学A	地理総合	歴史総合	数学A	
6	言語文化	物理基礎	LHR	論理表現I	歴史総合	
帰りのHR・清掃						

MESSAGE

こころを大切にしたい授業の場づくり

自分の気持ちを素直にこぼにすると、というのはとても大変なことです。特に英語で話そうとすると、ハードルが上がります。まずは間違ってもうまく言えなくても大丈夫、という安心できる場をみんなで作りながら、授業を進めていきます。



国際教育部長 山田 英雄

英語授業の構成 (高1)

01 ロジカルにクリティカルに考える

【 教員 】 ネイティブ教員による授業

【 時間 】 週2時間

英語の授業の1つの目的は、単に単語や文法をたくさん覚えることではなく、自らの主張をロジカルに発信し、他者からの情報をクリティカルに受け取ることができるようになることです。どう組み立てればロジカルに発信できるか、どうすればクリティカルな目が養えるのか。授業を通して様々な題材を扱いながら、トレーニングしていきます。

03 英語という言葉の仕組みを理解する

【 教員 】 日本人教員による授業

【 時間 】 週2時間

「英語が上手に使える」という場合、必ずしも発音が素晴らしい必要はありません。伝えたいことを正確に伝え、相手の言っていることを誤解なく受け取ることができるのがより大切だと考えています。そのためには、語彙力だけではなく、内容を理解するための手引き、つまり語法や文法を身につけることが重要です。ただ、文法を「知っている」だけでは役に立ちません。文法の大切さを体感し、自分のものにするためのトレーニングが必要になります。

02 情報をキャッチし、自分の意見を組み立て、発信する

【 教員 】 ネイティブ教員による授業

【 時間 】 週2時間

世界中の英語を使う人々と情報交換するためには、いくつかの約束事があります。特に、自分の主張はしっかりと伝え、根拠をもって説得できることが重要です。そのためには、「パラグラフ」を意識し、「主張→根拠→結論」というフォーマットに当てはめて表現することがとても大切です。こうしたトレーニングを柱とし、英語でコミュニケーションを効果的にとる練習を重ねていきます。

異文化理解

異文化や世界での様々な問題(SDGsなど)に関するトピックを取り上げ、自分の意見をエッセーに落とし込みます。もちろん、英語で書くので、語法や文法にも注意を払います。

文法理解

文法用語をただ暗記するのではなく、英文法のパターンを生徒自らが発見し、その精度をあげていくなど、文法を能動的に学び、身につけます。

英語読解

テキストのトピックに関連したニュースや、今起きていることをリアルタイムで教材としながら、英文を読解します。英文を単に日本語に置き換えるのではなく、コンテンツを深く掘り下げるために議論をしたり、自分の意見を英語でまとめたりしながら、英語を情報源として、思考することを大切にします。



留学プログラム 高校時代の海外生活が人生のアドバンテージに

セメスター留学



1学期間(最大6ヶ月間)の留学です。オーストラリアやニュージーランドなど提携先が増えて、ますます充実したプログラムになっています。留学中、本校の授業料は半額免除です。

アカデミックイヤー留学



1年間の留学で、高1の夏からの1年間が、最も人気の期間です。帰国後は進級した状態で、本校での学習を再開することができます。留学中、本校の授業料は半額免除です。



SUBJECT

[教科ガイド]

国語科

JAPANESE



現代文・古文・漢文によるテキストの解釈や分析を通して、読解スキルの定着を図るとともに、多角的な視点から考えぬく深い読解力を育てます。目標は、自らの問題意識、興味・観点から情報を選び取り、本質を見極める力の育成です。

1.2年

現代文は、近代の小説を題材にして、作品分析に必要な方法と態度を修得します。古文は平安時代以前の作品を題材とし、その時代の世界観、宗教観、自然観などを考察します。漢文は基本文法・句形の習得をしながら、日本文化に与えた影響を考察します。2年では、現代の評論を題材に、分担発表と質疑応答による演習形式で分析や考察します。

3年

哲学的文章や小説を題材に、ゼミ形式で研究を行います。

数学科

MATHEMATICS



教科の目標は、世界とつながり活躍できる人間の育成です。まず、自分の意見を論理的に構築し、他者に説明することで、自分の考えを明確にします。次に自分と他者の考えを比較して、それらを統合させます。また、世界で起きていることや、自然の中にある数学的事象を積極的に探し出し、その現象を解き明かそうとする姿勢を養います。

1.2年

アウトプットを意識した座学と日常的な場面を題材にしたグループ活動を組み合わせた数学的活動を展開します。授業内外で数学を通して論理的思考を磨き、自ら学ぶ姿勢を養います。

3年

自らの進路に基づいて、数学の授業を選択します。1・2年時に培った数学的な素養をベースに、進路を意識しながら、さらに数学の専門性を高めます。

地歴・公民科

GEOGRAPHY & HISTORY, CIVICS



社会科では、自分軸を持ち、広い世界とつながることを大切にしています。その中で、自分はどう考え、どう生きるかを明らかにしていきます。プロジェクトベースの授業では、歴史・宗教・文化など、社会科に関連するコンテンツについて、対話を通して協働しながら学びます。3年間を通して自分軸を養い、多様な世界観に共感し、自分と世界をつなげるマインドとスキルをバランス良く身につけます。

1.2年

基本的な知識を身につけた上で、現代の社会課題について思考し、論文や寸劇、ブックレポートなど、様々な方法で表現します。2年間を通じてアカデミックなスキルを磨き、多様な価値観に触れることで、自分をより深く知り、世界とつながるまなざしを養います。

3年

先人の思想と対話することによって自己・他者・世界への理解を深める「倫理」が必修となり、受験演習型社会も選択できます。これまでの思考・表現を深め、進路実現におけるさらなる飛躍をサポートします。

理科

SCIENCE



理科は論理性を養うことに重点を置いています。自分自身の問いと時間をかけて向き合うことで、問い自体を磨き上げ、そして、その解を導くために実験・観察にこだわり、論拠を一つひとつ積み重ねます。理科は事実が明らかで、言葉の定義も明確なので、論理性を養う過程で正確な知識を得て、客観的な表現力を身につけます。

1.2年

学習のテーマの中から疑問を見つけ出し、その答えの導き方を自ら考え、実験し、考察します。授業は双方向で進み、常に主体的な学びを意識し、理解とその定着を図ります。2年生は論理的専門性を持って、より深く、高いレベルで学習します。

3年

一人ひとりのニーズにあわせて、プロジェクト型理科、もしくは受験演習型理科を選択します。1・2年時に身につけた、学びのマインドとスキルを活用し、自分の実現したい未来を創造します。

芸術科

MUSIC & ARTS



「芸術統合」として、音楽と美術の科目横断型プログラムを実施します。多領域から総合的に表現の理解を深めます。作品を完成させるまでのプロセスを楽しみ、協働制作における表現の喜びを味わい、感動する心を養います。

2年 芸術統合(音楽・美術科目横断型プログラム)

1学期は、身近なものを使って、音楽と美術の複合的な表現方法を理解します。2学期は、音楽・美術・家庭科の分野を複合的に学び、より総合的な表現方法を理解します。3学期は音楽・芸術に分かれて学習します。個人発表とグループ発表を通して、ミクロからマクロまで幅広い視点を身に付けます。

保健・体育科 PHYSICAL & HEALTH EDUCATION



「一生涯役立つ保健体育」をコンセプトに、自分の身体と向き合い、身近な人を気遣うマインドを育て、保健促進を伝えるリーダーシップを養います。授業では指導者側に立って授業プログラムを作成し、生徒に向かって体育指導も経験します。「考える、調べる、実行する」のサイクルを繰り返しながら、保健体育を多角的な観点から体感し、社会で必要とされる「人材」像を追究します。

家庭科 HOME ECONOMICS



家庭科では豊かな人生を送るための生きる力を育みます。まず人間の生涯を時間軸で捉え、家族・家庭及び福祉、衣食住、保育、消費生活などに関する基礎・基本的な知識と技術を習得します。次に個人や家庭から広い地域に目を向けます。生活課題を生活資源と関連付け、さまざまな視点から各自の生活課題を見出すことで、主体的な問題解決ができる力を養います。

情報科 COMPUTER SCIENCE



第1に現代の情報社会に対応できる、基礎的なコンピュータ・リテラシーを習得します。第2に、情報を収集・選択・整理できる力と、自分の考えを他者にわかりやすく伝える力を身につけます。第3に、ネットワーク上のエチケットや情報発信に伴う責任、コンピュータ犯罪や著作権などの情報モラルを理解します。

1.2年

グループ学習、アクティブラーニング形式で、体育の授業をデザインし、実践します。

3年

1・2学年で学んだ保健体育を実践し、振り返りを行います。

2年

衣食住、家族・家庭、保育、高齢者、家庭経済など、人間の生活に関わる基礎的・根本的な知識を技術の習得を目指します。身近な問題について考え、生活課題の解決を体験的に学ぶ中で、社会に貢献し、積極的に生きる姿勢を身に付けます。

1年

表計算ソフトウェア等を活用して、コンピュータ・リテラシーを習得します。マルチメディア作品の制作を通して表現力を身に付け、同時に情報モラルも学びます。AIやIT関連の最新ニュースも積極的に取り上げて、情報社会における問題意識を高めます。

高校新クラス 教育課程表

教科	科目	標準時間	1年	2年	3年		合計	
					必修	選択		
国語	現代の国語	2	3	■2			9~15	
	言語文化	2	2					
	論理国語	4		2	2			
	文学国語	4						
	国語表現	4				★4		
	古典探究	4						
地理歴史	歴史総合	2	2	2	2		6~10	
	世界史探究	3				★4		
	日本史探究	3				★4		
	地理総合	2	2					
	地理探究	3						
公民	公共	2		2			4	
	倫理	2			2			
	政治・経済	2						
数学	数学I	3	3				9~19	
	数学II	4		4				
	数学III	3				★4		
	数学A	2	2					
	数学B	2		▲2				
	数学C	2				★4		
	数学演習	2				★4		
理科	科学と人間生活	2		2			6~16	
	物理基礎	2	2					
	物理	4				★4		
	化学基礎	2		■2				
	化学	4				★4		
	生物基礎	2	2					
	生物	4				★4		
	地学基礎	2						
	地学	4						
保健体育	体育	7	2	2	3		9	
	保健	2	1	1				
芸術	音楽I	2		●2			2	
	美術I	2		●2				
	書道I	2						
家庭	家庭基礎	2		2			2	
外国語	英語コミュニケーションI	3	4				18~20	
	英語コミュニケーションII	4		4				
	英語コミュニケーションIII	4			4			
	論理・表現I	2	2					
	論理・表現II	2		2				
	論理・表現III	2			2			
英語プロジェクト					★2			
情報	情報I	2	2				2~4	
	情報II	2				★2		
総合的な探究の時間(PJ)		3~6	4	4	▲2	2	★4	10~16
学級活動		3	1	1		1		3
合計			34	34	16		4~16	88~100

●：教科内必修選択 ▲■：教科間必修選択 ★：教科間自由選択

・但し、教科間自由選択は希望者が少ない場合には開講されないことがある。高3は、自由選択4単位~16単位まで選択可とする

・高3は土曜日の3・4限目はなしで、個別指導の時間とする

進路・進学

進路実現は「当たり前だけど大切なこと」の積み重ね

進路部と学年・教科が連携し、一人ひとりの学習状況を分析しながら希望進路実現に導きます。卒業生も後輩たちを支えます。鍵となるのは日々の積み重ね。学校全体がひとつになって、高い志望を叶えます。

PICK UP 放課後講習・長期休暇講習

高2は合否を分ける大学入試500日前を迎えます。放課後講習は高1の3学期に大学入試基本英文法講座から始まり、入試直前期までより高度な理解を得るため実施しています。現役予備校講師をはじめとする信頼と実績の講師陣が、担任や授業担当の先生と密な連絡をして、本校ならではの指導効果を相乗的に発揮しています。さらに夏期冬期春期直前講習は講座延べ数計500回を超えて実施されており、進学指導において自信の指導を展開しています。

曜日	学年	講座名	実施時間
月	高3	英語S	120分
	高3	英語D	120分
火	高2	現代文	90分
	高3	推薦・総合型文章講座(標準)	90分
水	高3	古典	90分
	高2	英語T	120分
木	高2	英語D	120分
	高3	現代文	90分
金	高3	理系物理	90分超
	高3	理系生物	90分
土	高3	推薦・総合型文章講座(上級)	120分
	高2	文理数学	90分
日	高3	入試数学演習	90分
	高2	英語S	120分
月	高2	英語D	90分
	高3	英語D	90分
火	高3	英語S	120分
	高3	文系世界史	120分

PICK UP 探究ゼミ

総合型選抜入試に対応するため、現役大学生による対話型講座を開講しています。ただ合格を目指すのではなく、自分の人生と向き合い、目標に向けて自律的な自分を目指す場です。憧れの卒業生との対話は刺激的です。



PICK UP セルフラーニングセンター

生徒一人ひとりの主体的な学びを支援する、放課後の自習室システムです。教育支援企業の大学生スタッフの学習メンター®が常駐し、宿題フォローから大学受験まで多様な学習支援を行います。



PICK UP 勉強合宿

夏休みに、高1は3泊4日、高2は4泊5日、文系・理系やレベル別クラスに分かれて100分の講義を受け、夜は自学自習と質問を繰り返します。疑問点をその場で質問し理解できる環境です。



PICK UP 合格体験記

学習法、スランプの時期と対処法について具体的な体験談とふりかえり、高2の2学期から高3受験直前までに取り組んだ教科別の学習内容・方法やテキストを時系列に掲載しています。



MESSAGE

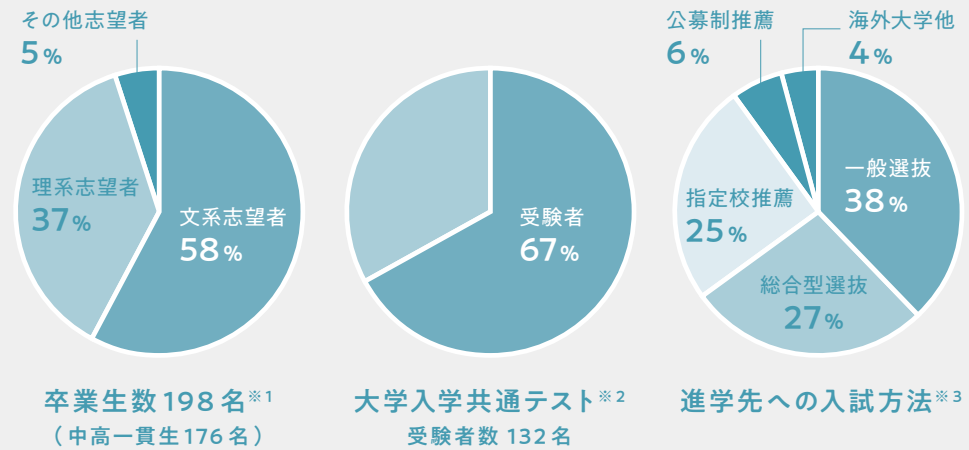
混迷の時代を生きる

高度経済成長期の日本人は、みなが同じものを見て、同じものに憧れ、共通の話題で盛り上がりました。そして、競争社会で生き抜くために、まずは偏差値の高い日本の大学を目指し、高い地位に就き、多くのお金を稼ぐことが、人生の成功でした。人より優れていることに価値があり、みなが同じ方向を向いているので、自分の今日の行動も迷う必要はない。しかし、今は違います。良くも悪くも、多種多様な価値観を自由に表現できる今、変化の激しい未来を、長期的な視野に立ち、考え、情報収集を積極的に行い、周りからのプレッシャーに左右されず、自分自身を知ることが大切です。今も昔もやはりウサギではなく、自身と向き合うカメのような生き方です。



進路部長 福富 高彦

2025年 大学合格情報



※1: オーセンティッククラスとトラディショナルクラスは、高校2,3年で文系クラスと理系クラスに分かれます。
 ※2: 放課後講習・長期休暇講習でも、共通テスト対策講座を開講しています。
 ※3: 希望制の大学受験対策講座を開講しています。自習室もあり、進路指導室やラウンジでも、大学生や教員が個別フォローしています。TOEFL/SAT講座など、海外大学進学のための支援体制も整えてあります。

国公立大学への合格者数

大学	計
東京大学	1
東京外国語大学	1
東京学芸大学	1
横浜国立大学	2
富山大学	1

医学部・歯学部・薬学部への合格者数

大学	計
医学部	3
歯学部	4
薬学部	5

※ 既卒2含む

私立大学への合格者数

大学	計
早稲田大学	18
慶應義塾大学	15
上智大学	15
東京理科大学	16
国際基督教大学	7
学習院大学	3
明治大学	16
青山学院大学	9
立教大学	13
中央大学	4
法政大学	18
関西学院大学	1
同志社大学	1
立命館大学	4
立命館アジア太平洋大学	7
成蹊大学	9
成城大学	2
明治学院大学	12
武蔵大学	6
日本大学	17

大学

大学	計
専修大学	5
東洋大学	19
駒澤大学	4
國學院大学	7
順天堂大学	11
玉川大学	5
東京都市大学	3
芝浦工業大学	21
工学院大学	2
東京農業大学	3
東北医科薬科大学	1
獨協医科大学	2
女子美術大学	1
多摩美術大学	2
洗足学園音楽大学	1
東京女子大学	1
学習院女子大学	4

※ 既卒4含む

他、たくさんの合格者が出ています。

海外大学への合格者数

大学	計
Arizona State University	1
Binghamton University	1
Case Western Reserve University	2
Eastern Florida State College	1
Griffith University	1
Grinnell College	1
IE University	1
Indiana University	1
Indiana University Bloomington	1
Leiden University	1
McGill University	1
Michigan State University	1
Monash University	1
Northeastern University	1
Pennsylvania State University	2
Pomona College	1

大学

大学	計
San Jose State University	1
Semmelweis University	1
Stony Brook University	1
Syracuse University	1
Temple University	1
Tulane University	1
University of British Columbia	2
University of California Riverside	1
University of Central Arkansas	1
University of Debrecen	1
University of Illinois at Urbana-Champaign	1
University of Manchester	2
University of Massachusetts Amherst	1
University of Minnesota Twin Cities	1
University of New South Wales	1
University of Pecs	1
University of Sydney	1
University of Szeged	1
University of Toronto	2
University of Washington	1

※ 既卒10含む

学校推薦型選抜の

指定校制推薦枠数(2025年入学)

大学	学部	推薦枠
東京理科大学	4学部	6名
国際基督教大学	1学部	1名
中央大学	1学部	1名
法政大学	10学部	15名
立命館アジア太平洋大学	2学部	2名

他、全国100大学以上から推薦枠を頂いています。

高校新クラスのみ

(2018~2025年卒業生 248名)

大学	現役生
国公立大学	11
早慶上理 ICU	98
GMARCH	75
海外大学	40

ONE DAY *at Kaetsu*

「語りたいことがたくさんある」かえつ生の1日

生徒たちの顔は「今日はどんな新しいことを学べるだろう」という期待に輝いています。放課後は部活に、体育祭や文化祭の準備に、講習に、そしてそれぞれが今、熱中できることに向かいます。



高校3年生

MESSAGE

楽しく過ごせる毎日

自分の興味・関心を深め広げるプロジェクトから、本格的な受験勉強につながる授業も選べるので、自分にとってバランスよく学べます。部活動の参加の仕方はそれぞれですが、校外でのボランティア活動も含めて、充実した毎日を過ごしています。休み時間や昼休み中は友達と遊ぶ時間もあるので、学校生活を青春できます。

8:15



登校

かえつ生は湾岸エリアに限らず、1時間以上かけて登校する生徒も少なくありません。7:30ごろから、自習や朝練習している生徒もいます。

8:35



午前

どの授業も「主体的に学ぶ」ということを軸に設計されています。新しいことを学ぶワクワク感が、創造的な学習の原動力です。

12:25



昼休み

持ち込んだお弁当や注文販売の日替わりお弁当、コンビニ自販機で買ったものを食べます。食後は、グラウンドでのびのびと。

13:10



午後

午後の授業は2コマです。最後の最後まで集中!! 対話や実践を重んじる授業は、あっという間に時間が過ぎます。

15:30



部活動・講習

帰りのHR、清掃が終わったら、いざ部活へ! 放課後講習では大学受験対策講座を開講しています。ドルフィンやブルームでプロジェクトに励む生徒も。

17:30



下校

原則17:30に下校します。生活目標の一つである「時間の厳守」を徹底しています。セルフラーニングセンターは、19:30まで利用できます。

SCHOOL EVENTS

かえつ生の思い出に残る「一番熱い日」

生徒主体の学校行事。修学旅行も生徒自ら企画します。体育祭、伝統の集団演技は誰もが主役。成功だけではない。失敗からも学べる学校行事です。

<p>APRIL 4</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 新入生オリエンテーション ● 入学式 ● 始業式 ● 面談月間 ● 授業参観 ● 生徒総会 ● 健康診断 ● 保護者会 ● 防災訓練 ● 校外学習 	<p>MAY 5</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 中間試験 ● 高1新クラスケンブリッジ研修 ● 体育祭 	<p>JUNE 6</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 読書週間 ● 高校1・2年進路ガイダンス ● 海外大学進学説明会 ● 保護者面談 	<p>JULY 7</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 期末試験 ● 終業式 ● インド研修
<p>AUGUST 8</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 高校1・2年勉強合宿 ● サンディエゴ研修 	<p>SEPTEMBER 9</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 始業式 ● 文化祭 ● 面談月間 ● 防災訓練 	<p>OCTOBER 10</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 創立記念日 ● 中間試験 ● 高校2年修学旅行 	<p>NOVEMBER 11</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 読書週間 ● 授業参観 ● 保護者面談 ● 生徒会立会演説会・選挙
<p>DECEMBER 12</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 期末試験 ● 終業式 ● 高校2年芸術展覧会 	<p>JANUARY 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 始業式 ● 二十歳を祝う会【卒業生】 	<p>FEBRUARY 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 高校送別会 ● 留学フェア ● かえつCo-Lab Day 	<p>MARCH 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 期末試験 ● 修了式 ● 高校卒業式 ● ケンブリッジ研修(希望制)



生徒が企画・運営する修学旅行

小笠原諸島

10/18~10/23(現地3泊・船中2泊 6日間)

24時間の船旅! 船上で朝日を眺めることから始まり島の発見、到着。竹芝での出発は副村長さん、到着は村長さんに温かく迎えられスタート。現地では、みんなで話し合い決定した生物・歴史・環境・交流と4つのグループに分かれて行動。夜には、1日過ごして何を経験して何を感じたか、言語化と共有の時間。眩しい月と星空のもと、素敵な時間が流れて行きます。沢山の経験とふり返り、温かい出会いに包まれながら出港。「いつてらっしゃ〜い」のお見送りに感激しました。



CLUB ACTIVITIES

部活動紹介

部活動の規定(抜粋)

生徒個人の活動日と活動時間については次の通りとする。

- 原則として平日(月曜日～金曜日、祝祭日及び休校日を含む)は3日を限度とし活動時間は2時間程度とする。
- 原則として土曜日・日曜日は1日を限度とし活動時間は3時間程度とする。
- 長期休業中の活動時間については土曜日・日曜日に準じる(3時間程度)。
- 定期試験期間中及び定期試験1週間前からの活動は行わない。

MESSAGE



バスケしようぜ!

バスケ部は部員数も多く、先輩と後輩の仲が良いので、しっかりとメリハリをつけながら、楽しい雰囲気練習をしています!部員の9割近くが未経験者なので、未経験者の人でも大歓迎!「でも初心者ばかりで、戦績は悪いんでしょ?」と感じた人もいると思います。中学は2年連続江東区ベスト4位、高校では新人戦支部大会ベスト16と年々、戦績を上げていて好調です!一緒にこの部活で楽しい思い出を作りましょう!

バスケットボール部 (高校1年生)



繋がる

陸上競技部は、一言で言うならアットホームな部活です。学年・男女の壁を感じさせない繋がりがあり、笑顔の絶えない空間です。練習中も楽しそうな声がよく聞こえてきます。しかし、ただ楽しいだけではなく、集中する時は皆真面目に取り組むなど、オン/オフのスイッチもしっかりしています。また、初心者から関東大会に出場する人など色々な人がいて、部員同士でのアドバイスの出し合いなどを行い日々精進しています。色々な繋がりを得られる陸上競技部で皆さんをお待ちしています!

陸上競技部 (高校2年生)



剣道部

サッカー部

山岳部

卓球部

マーチングバンド部

バスケットボール部

バドミントン部

バントワリング部

バレーボール部

ダンス部

演劇部

音楽部

日本文化部(茶道・華曲・将棋)

文芸部(かるた部)

調理部

陸上競技部

放送部

合唱部

科学部

アート部

ミュージカル部

水泳同好会
活動日:月曜、木曜
活動場所:有明スポーツセンター

ESS同好会

硬式テニス部

女子サッカー同好会

フットサル同好会



New!!
2024年3月 アーツセンターが完成!!

BLOOM

表現を通して、自己を深め広げる

教科によって人が集まるのではなく、用途によって人が集まる空間です。その時々を生徒の活動に応じて変化していきますので、開放された風通しのいい空間で、さまざまな授業や課外活動の自己表現を楽しんでください。



SCHOOL LIFE
SCHOOL FACILITIES

SCHOOL FACILITIES

かえつ有明のキャンパスは、一時期は東雲飛行場として使用されていた、固い地盤の上に建っています。コンセプトは「環境に配慮したエコスクール」。雨水や地中冷熱など、自然の力を利用する仕組みを取り入れています。東京23区の学校としては、明るく広い開放的なキャンパスです。

施設紹介 未来はここからはじまる



グラウンド
人工芝のサッカーグラウンド。ひざや腰への負担を軽減する素材を使用しています。体育祭もこのグラウンドで行います。



ウェルネスセンター
保健室とカウンセリングルームを統合した、心と身体の健康をトータルで支える場です。生徒のみならず保護者も安心して相談できます。



ドルフィン
図書館は、生徒が知識の海原を泳ぐ様子をイメージして「ドルフィン」と呼ばれます。約5万冊の蔵書が好奇心を刺激します。



屋上庭園
臨海地区の風景が一望できる屋上庭園。卒業生がこの場所にタイムカプセルを格納して、20年後に開ける予定です。



和室
量の香りに癒やされる和室。日本文化部や文芸部(かるた部)が利用しています。



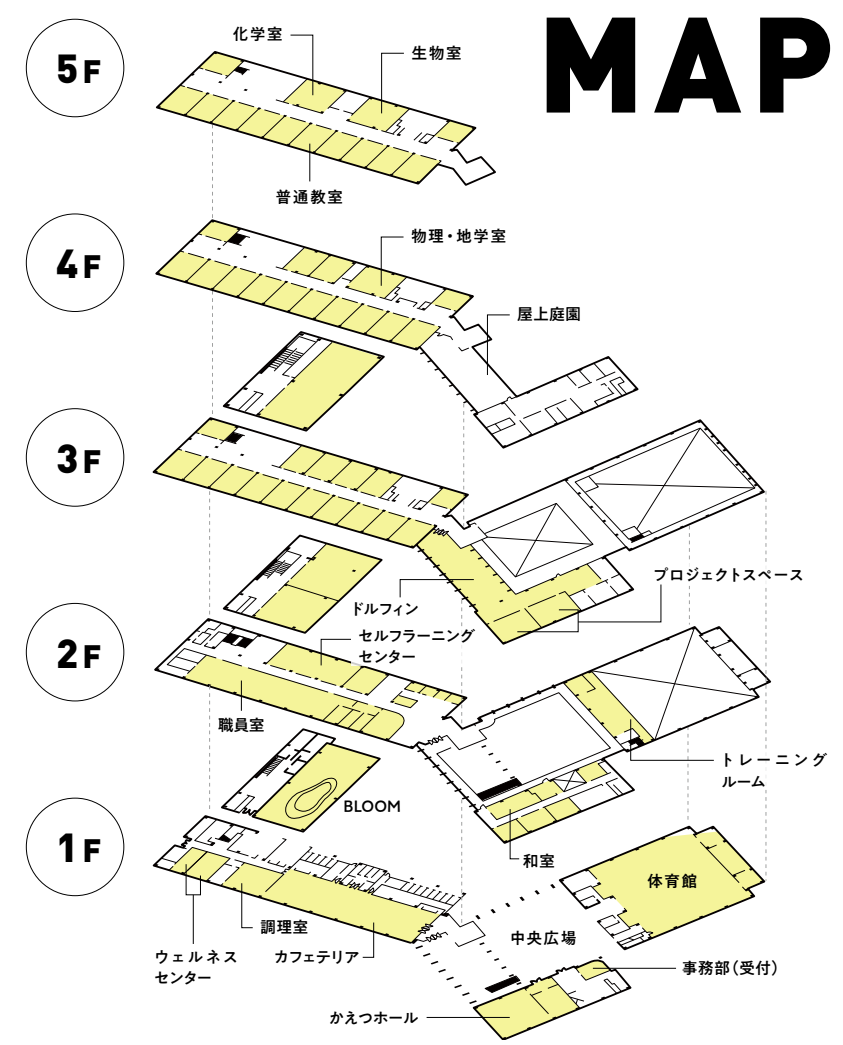
コンビニ自販機
ドリンク・軽食(パン・おにぎり等)などを販売します。健康的な日替わりお弁当のネット注文販売もあります。



体育館
1200名収容できる体育館。1階はバスケットコートが2面取れる広さ。2階は柔道の授業で60帖分の畳を敷ける広さがあります。



テニスコート
2面あります。休み時間には、生徒たちが思い思いに時間を過ごしています。放課後には、硬式テニス部が活動しています。





DETAIL



ズボンスタイル

アクティブなかえつ生の象徴です。選択アイテムに、グレーのスラックスもあります。

スカートスタイル

高校生は、緑のライン。大きな幅のプリーツスカートで活動の幅を広げます。



ポロシャツ

白と紺色が選べるポロシャツ。通気性が良く、夏の定番スタイルになっています。

UNIFORM

制服紹介 活動的な学校生活を過ごすために

かえつ生の日常はアクティブです。自由な発想で自己表現をするために、カジュアルなスタイルも揃えました。夏・冬の区別なく、アイテムを自由にコーディネートできます。メンズブランドTAKEO KIKUCHIのクリエイティブディレクター、菊池武夫氏のデザインです。



DETAIL



セーター

秋冬に活躍するウールのセーター。

ベスト

寒暖の差が大きい季節に活躍するベスト。



ジャージ

2026年度からリニューアル(デザイン変更の可能性あり)。シューズは体育館用とグラウンド用の2種類あります。



パーカー

かえつ生に人気のグレーのパーカー。着回しがきくので1年中活躍します。



INFORMATION

[学園情報]

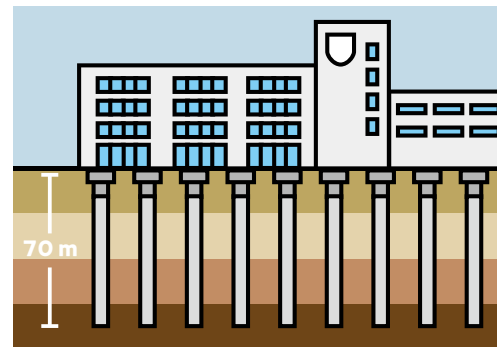
立地の安全性について

東雲駅前は海拔3mほどあり、さらに本校の校地は海拔6mほどの高さにあります。また、東京臨海広域防災公園に隣接し、災害時の対策本部から支援が受けやすい環境です。東京臨海広域防災公園は、首都直下地震等の大規模な災害発生時に、「災害現地対策本部」等が設置され、東扇島地区(川崎市)の物流コントロールセンターと一体的に機能する防災拠点施設です。



校舎の安全性について

かえつ有明中・高等学校の敷地は、古くからの埋め立て地で、一時期は東雲飛行場(1980(昭和55)年閉鎖)としても使用されていた土地であるため、地盤は固くしっかりとしています。その硬い地盤の下、深さ70mにあるさらに固い地層まで基礎杭を何本も打ち込み、その上に校舎が建てられています。(通常の建物の場合、杭の深さは30m程度)



参考例：体育館天井の耐震性について

本校の体育館は、平成15年10月に国土交通省より発信された「大規模空間を持つ建物の天井の崩落対策について」に基づき、耐震性を考えて作られています。体育館を施工された鹿島建設株式会社によって計画され、施工されました。

災害時の対策について

地震や火災、有事の際、被害を最小限におさえるには、一人ひとりがあわてずに適切な行動をとることが重要です。そのためには、みなさんが災害について関心を持ち、いざというときに落ちついて行動できるよう、日頃から災害に対する正しい心構えを身につけておくことが大切です。独自の防災マニュアルをもとに、年2回、防災訓練を行っています。

災害時被災報告システム「CoCoねっと」

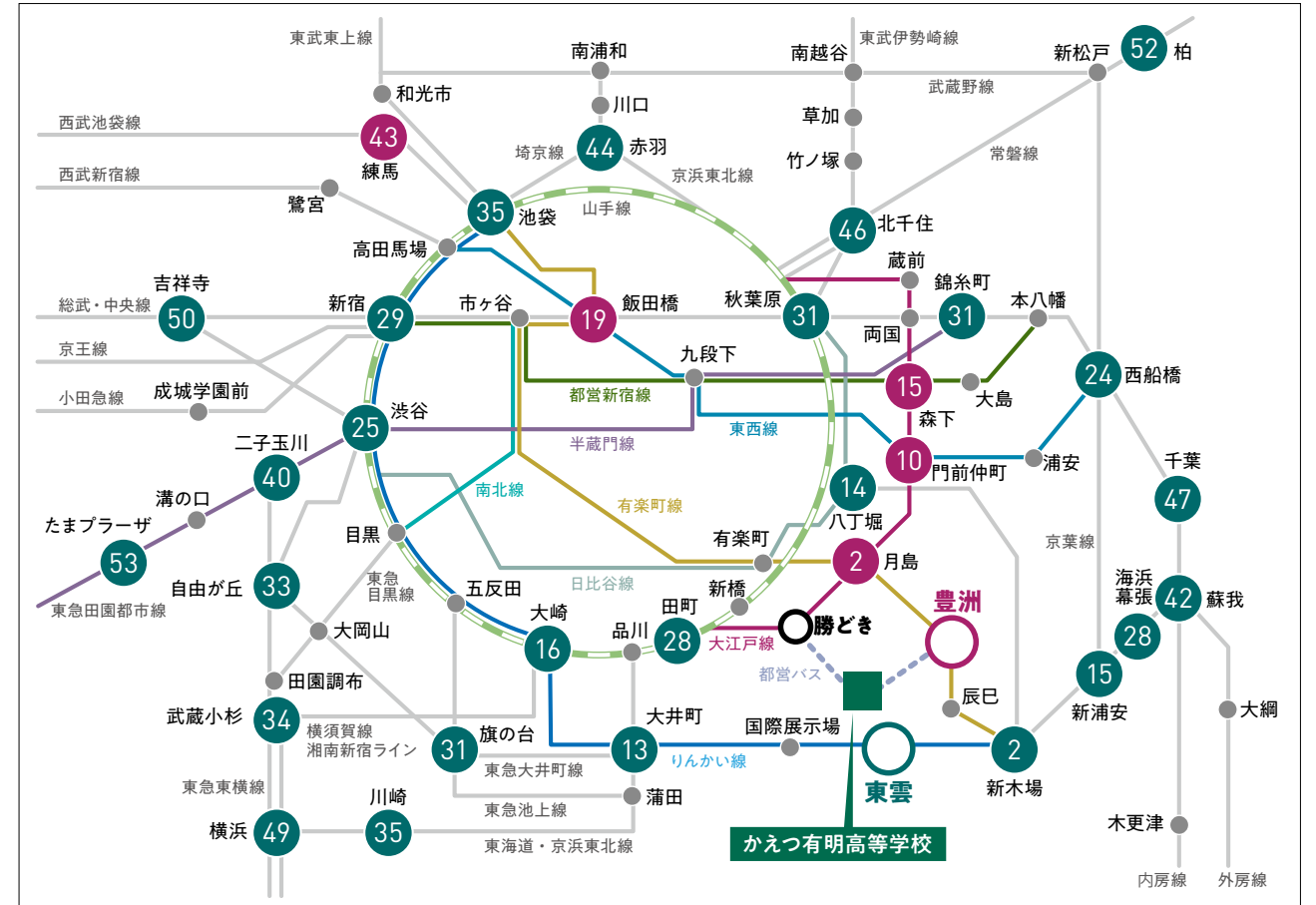
平常時は、生徒と保護者宛てに学校便りやお知らせなど必要な情報を、メール(アカウント配布)で一斉配信しております。災害発生時に、生徒との連絡が取れる学校専用のネットワークとして、NPO法人ロイズ(東京都品川区)が提供する「災害時被災報告システム」を導入し運用しております。携帯電話が繋がらない、携帯メールが遅延する状況においても、学校専用のサイトに直接情報を登録することで、生徒・保護者・学校の間で情報を登録・確認することができます。保護者が、インターネットのサイトでその情報を見て、返信を直接サーバーに書き込むことができます。また、生徒が、学校外で被災した場合は、生徒と保護者間で連絡を取り合える伝言板機能を有しています。本システムは、学校専用のサイトで利用者制限をしており、インターネットに接続できれば、確実に情報を登録・確認できる体制を整えています。本人が携帯電話を持っていない場合、避難所などのパソコンや他の人の携帯電話を使って、「災害時被災報告CoCoねっとカード」に記載されているアドレスにログインして利用することができます。このカードを生徒・保護者が常時携帯することで、様々な「まさか」の事態に備えることができます。



お預かりするお子様の安心・安全対策として

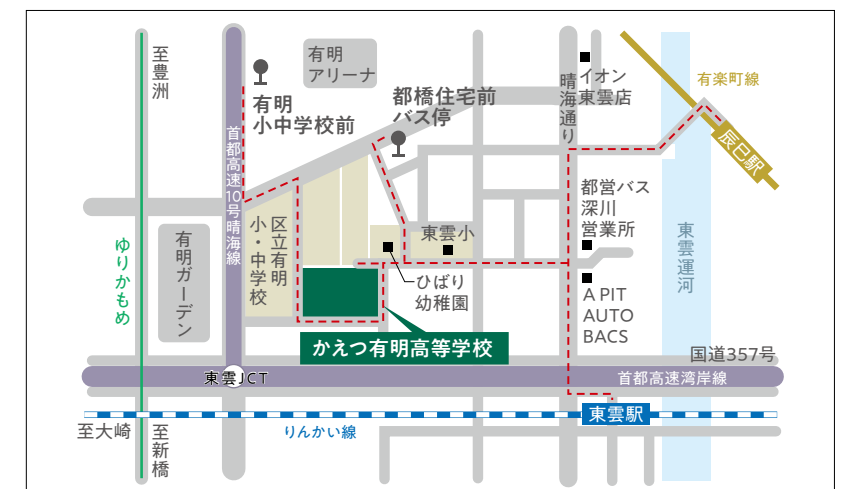
東京都が指定する災害避難地区、臨海副都心に位置するキャンパスは、病院や避難施設が近くにある安全な環境です。「学校が一番安全な場所」となるために、さまざまな安全対策を行っています。

交通案内



- 最寄り駅は「東雲」駅となります。「東雲」駅利用の場合は「●」、「豊洲」駅利用の場合は「●」で駅を表記しております。
- 所要時間は、ジョルダン乗り換え案内にて8:00目的地到着の条件で調査しております。
- 「豊洲」駅から本校の最寄りバス停「都橋住宅前」まで都営バスで約8分です。

- りんかい線「東雲」駅より徒歩約8分
- 有楽町線「豊洲」駅より都営バス(東16)(海01)「都橋住宅前」バス停下車徒歩約2分
 - (東16) 東京駅八重洲口発 月島・豊洲経由台場方面行き
 - (海01) 門前仲町駅発 越中島・豊洲経由台場方面行き
- 大江戸線「勝どき」駅より(都05-2)「有明小中学校前」バス停下車徒歩約3分
 - (都05-2) 東京駅丸の内南口発 勝どき駅前経由 東京ビッグサイト方面行き
- 有楽町線「辰巳」駅より徒歩約18分



ENTRANCE EXAMS

[入試情報]

2026年度 高校入試

	2月11日(水・祝)
試験名称	一般入試
試験科目	総合問題(筆記) グループワーク プレゼンテーション
出願	1月25日(日)~2月6日(金)
合格発表	2月11日(水・祝) 18:30
特待生	I種特待: 入学金および授業料免除 II種特待: 入学金免除
入学手続き	2月15日(日)まで 延期願(注) 国・公立高校受験者で、入学手続き延期を希望する人は、出願時に延期手続きを行ってください。 但し2次募集・繰り上げ合格等は適用外です。

2026年度 帰国生高校入試

Regular 選考	試験名称	11月20日(木)午後 帰国生Regular選考
	科目	・国語 ・英語 ・数学

Regular選考で合格された場合、英語の授業は一般的なレベルのクラスでの受講になります。

Honors 選考	試験名称	12月7日(日)午前 帰国生Honors選考
	難易度	英検準1級程度
	科目	・英語作文 ・英語筆記 ・英語ペアワーク ・日本語作文

特待合格もあります。

学費及び諸経費(2025年度参考)

入学時かかる費用について

入学金	250,000円
後援会入会金	5,000円
入学諸費	45,000円
合計	300,000円

Honors英語授業は別途下記学費が発生します

英語特別指導費用(月額)	10,000円
--------------	---------

入学後、毎月かかる費用について
(毎月指定口座より引き落とし)

授業料	40,000円	後援会費	2,000円
設備費	14,000円	生徒会費	1,000円
環境衛生費	9,000円		
積立金(自習室・教材など教育充実費)	15,500円		
修学旅行費用積立金(2年間)	10,000円		
合計	91,500円		

※授業料につきましては、就学支援金(国)と授業料軽減助成金(都)による負担軽減制度(世帯の所得による)があります。

制服・体操用品の費用について
(必ず購入するアイテム)

制服一式	男子	60,280円
	女子	スカート選択 61,765円 チノパン選択 58,080円
体操用品一式	共通	29,695円

ケンブリッジ研修費用について
1年次5月にケンブリッジ(イギリス)研修を予定しております。費用のお支払いは事前支払いとなり、直接旅行代理店へお支払いいただくことになります。(2024年度実績58万円)

Message from the PRINCIPAL



校長 小島 貴子

2025年、かえつ有明は有明の地に移転して20周年を迎えます。
この20年間、「経験と対話を通じて豊かな人間性を育む」ということを大切に、生徒一人ひとりの成長を支える環境づくりに努めてきました。今年度も、その精神をさらに深化させ、より良い教育を教職員一丸となって提供していきます。

未来を創る学びへー「学び方を学ぶ」「自分軸を確立する」「共に生きる」=「繋がるチカラ」

かえつ有明では、知識を得るだけでなく、自ら問いを立て、考え、行動する「主体的に学ぶ」を大切にしています。その言動は、決して一人では完結しません。他者と意見を交わし、対話を重ねることで、自分の考えを深め、新たな視点を得ることができます。この「繋がるチカラ」こそ、未来の社会を生きる上で不可欠な力です。

今年度も、生徒が安心して対話し、主体的に学び、挑戦できる環境をさらに充実させていきます。そのために、新たな取り組みとして「ウェルネスセンター」の機能を強化し、思春期の心と身体の成長を支えるサポートを一層充実させます。また、「セルフラーニングセンター」では、生徒一人ひとりが自らの学習習慣を確立し、主体的に学ぶ力を育めるような環境を整えていきます。

未来への挑戦ー「学び続ける学校」へ

これからの時代は、変化が激しく、正解のない問いに向き合うことが求められます。そのために、学校もまた、変わり続け、学び続ける場であればなりません。かえつ有明の教員もまた、生徒とともに学び、成長し続けることを大切にしています。

この一年、生徒の皆さんには、自分の興味関心を広げ、多くのことに挑戦してほしいと思います。成功だけでなく、失敗や試行錯誤の中にも大きな学びがあります。私たちは、皆さんが挑戦できる環境を整え、全力で応援します。

20周年を迎えたかえつ有明は、これからの未来を創る学校として、さらに進化していきます。皆さんとともに、この学校をより豊かな学びの場へと育てていけることを楽しみにしています。

これからも、共に学び、共に挑戦し、共に成長していきましょう!

教育理念
PHILO SOPHY

生徒一人ひとりが持つ個性と才能を生かして、
より良い世界を創り出すために
主体的に行動できる人間へと成長できる基盤の育成